

JFFID 2025 日本代表候補強化合宿 [4 月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

1 日時・場所

期 間：2025年4月26日（土）～29日（火・祝）
場 所：さくらスタジアム（栃木県さくら市）

2 強化合宿の目的

・スタッフ及び選手：フランス遠征に向けたチーム強化

3 スケジュール



期日	午前	午後	夜
4月26日（土）	集合	フィジカルチェック トレーニング	ミーティング
4月27日（日）	トレーニング	トレーニングマッチ	ミーティング
4月28日（月）	トレーニング	トレーニング	ミーティング
4月29日（火・祝）	トレーニングマッチ	解散	

4 スタッフ・選手

スタッフ：7名
選 手：代表候補19名＋トレーニングパートナー1名（途中1名体調不良により離脱）

5 トレーニング・ミーティング及びゲーム

- ・フィジカルチェック（40m 走・クランク走・YO-YO）
- ・スキルトレーニング（パス・コントロール・ターン）
- ・守備トレーニング（個、グループ、チーム）
- ・攻撃トレーニング（ビルドアップ、ゴール前の崩し（中央・サイド））
- ・GP トレーニング（基本技術・ゲーム適応能力・チーム戦術）
- ・シュート
- ・ミーティング（TRM 振り返り）

・トレーニングマッチ

4/27（日）vs 矢板中央高校 ●1-2

前半 JFFID 日本代表 1-1 矢板中央高校（40 分）

後半 JFFID 日本代表 0-1 矢板中央高校（40 分）

（J）得点者：大久保

※別で、30 分ゲーム実施

4/29（火・祝）vs 栃木 SC ユース ●0-6

前半 JFFID 日本代表 0-4 矢板中央高校（45 分）

後半 JFFID 日本代表 0-2 矢板中央高校（45 分）

※別で、30 分ゲーム実施

6 総括

2026 年 Virtus サッカー世界選手権に向けた、6 月フランス遠征直前の国内合宿を行いました。フランス代表との対戦は 2022 年以來となります。その時は 2 試合を行い無得点で敗戦。前回対戦の分析を行い TR しました。

2022 年の対戦では、攻撃は、相手状況を踏まえビルドアップできるにも関わらずただ長いボールを入れボールを簡単に失うなど、状況に応じた対応力と決定力の不足、守備は、ボールとマークの同一視が課題でした。それを踏まえ、チームとして、「どのようにゴールを守りボールを奪うか、また、G P から相手コートにどのようにボールを運び、どのようにして PA 内に進入し得点するか。」を狙いとして TR し、ゲームにおいてチャレンジしたことによる【成果】と【課題】は以下のとおりです。

【成果】攻撃は、GP からのビルドアップで積極的なチャレンジによるエラーで失点したものの、チャレンジしたことによる選手自身の気づきや、改善して成功したプレーは結果として選手の自信になりました。守備は、3つのゾーンでの守備にチームとして取り組んでおり、試合で選手同士の声掛けによるゾーンの理解と共有があり、連携してボールを奪えたことは成果です。

【課題】攻撃は、前回同様にラストパス（プレー）の質、出し手、受け手のタイミングです。アルゼンチンとの試合では、PA 内に進入するパスの成功率の低さが明確でした。守備は、カウンターを受けた際、ボランチを含めた中盤の帰陣とプレスバックが遅いことによる最終ラインと中盤のギャップにいる選手をマークできずにフリーでシュートを打たれるシーンが多くありました。また、サイドからのクロスに対するボールと人の同一視（マークをとる）は継続した課題です。

フィジカルチェックは、JFA から光電管を借用し、40m 走・クランク走の測定を行い、時間の効率化と計測の正確性が図られました。今後も継続して活用し、データ蓄積とパフォーマンス向上に努めます。

ミーティングは、全体で TRM の映像を振り返り、ポジション別に選手とコーチでレクチャーを行いました。

最後に、今回の合宿を何人かの方が見学に来てくださいました。代表チームがどういった環境で TR しているか、どのような TR をしているか、選手のプレーや取り組みはどうか、スタッフの関わりはどうか、など、間近に観ることで多くの気づきや発見があったのではないかと思います。合宿は基本的に見学自由でオープンですので、多くの方に観に来ていただけると幸いです。また、今回も合宿地であるさくら市教育長様より選手への激励と特産品の贈呈、JFFID 技術委員の運営サポートなど多くの支援をいただきました。関わってくださいました全ての皆様に心から御礼を申し上げます。実りあるフランス遠征となるよう良い準備をしまいたします。引き続き、選手へのご声援のほどよろしくお願いします。





JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター
競技力向上事業